

# 場とつながりの研究センターの 相談ができる食料配布会

2月25日に、在住外国人を対象とした生活相談ができる食料配付会を、三田市ほんまち交流館「縁」で開催しました。ベトナム、インドネシア、マレーシア国籍の15の方が来場し、場とつながりの研究センタースタッフのヒアリングに答えて、食料を持ち帰りました。

今回の会では、この地域に住む外国人の日本語を学ぶ意識や機会、日本語能力についてのアンケートを行いました。「仕事のための日本語を勉強したいですか」という質問に対して、14人が「勉強したい」と回答しました。

今回のヒアリングでは、日本で就職したい、日本に家族を呼び寄せたいと考えている人が目立ちました。今後、外国ルーツの子どもたちが増えることが予想される中、子どもたちが日本での学校生活にスムーズに適応できるような環境を整えていくことが重要です。日本語スキルが十分でない親が日本での生活に順応できるよう、支援していく必要も大きくなることが予想されます。また、日本語を学びたい、日本人と交流したいと考えている人も多くいましたが、その機会を確保しにくいという課題が今もなお継続してあることが分かりました。

今回は5月26日(日)に、在住外国人向け食料配付会を開催する予定です。詳細は下記の通りです。フォームから申し込みをして、ご来場ください。みなさんにお会いして、お話できるのを楽しみにしています。

この事業は、中央共同募金会、三菱財団、多くの寄付者の方々の善意により、開催することができました。ありがとうございました。

**日時** 2024年5月26日(日) 13:00~15:00  
**場所** 三田ほんまち交流館「縁」  
**配るもの** 米、食料品、日用品など  
**持ちもの** 持ち帰り用の袋(大きいエコバッグ)  
**費用** 無料  
**予約** 5月6日~5月13日

## 【問い合わせ先】

NPO法人 場とつながりの研究センター  
 担当：ほんだ、エン、ひらた

TEL: 080-5331-8987 (ほんだ：日本語)

※ベトナム語・英語での問い合わせは、メールかMessengerでお願いします。

メール：kokusai@batotsunagari.net

Email Facebook Messenger MAP



20名申込制  
 初めての方優先



希望参加時間を申込フォームから登録してください

- ① 13:00~ (5名)
- ② 13:30~ (5名)
- ③ 14:00~ (5名)
- ④ 14:30~ (5名)



※5月6日より前の受付は出来ません

## 外国人の先輩

### ~加納レベッカさんのインタビューから~



長年、三田で暮らしている加納レベッカさん。外国人住民として感じた日本の暮らし、日本語の必要性などをうかがいました。みなさんが日本で暮らすうえでヒントやアドバイスになるかもしれません。

どうして日本にきましたか？  
 いままで日本のどこでどんな仕事をしましたか？

アニメ好きの高校生時代、漫画を読んで日本に興味を持ちました。大学で日本語を学び、岩手で3か月間ホームステイを経験しました。卒業後、ALT(外国語指導助手)として盛岡に2年ほど行きました。その後英会話学校で5~6年ほど勤務し、現在の英会話スクールを引継ぎ、今に至ります。方言が好きで岩手県で楽しんだ後、関西弁を学びたくて関西圏での就職を希望し、それが三田に住むきっかけとなりました。

三田に住んで良かった事や困り事はなんですか？

三田が大好きで20年以上住んでおり、公園が多く子育てに適しています。国際交流プラザなどの施設が充実し、様々なイベントや講座が開催されています。日本の治安の良さと医療保険制度の充実は素晴らしいと感じています。日本語が話せるので、個人的には困ることはありません。花粉症の季節はつらいです。また洋服のサイズも見つけるのが大変です。さらに、外国人としての住宅探しの困難さも耳にします。

どうやって日本語を上達させましたか？  
 子育て上でしてきたことは？

経験として、ホームステイの3か月間では、日本語を話す必要があったので、大きく成長しました。母国語を話す人が周りにいない環境では、日本語が伸びます。大学で学んだ日本語と留学時に使った日本語の基本は同じでしたが、イントネーションには微妙な違いがありました。子どもたちは、特に頑張らなくても自然と日本語ができるようになります。多文化家族にとって、家は文化を守る領域なので、食文化や、クリスマス、イースター、ハロウィンなどといった行事を大切にしています。

外国人労働者が日本語を勉強する必要がある理由は？

日本語を話す能力は、一人の人としての認識を得るために大切です。企業は日本語でのコミュニケーションが可能かどうかを重視します。日本語が話せると、直接コミュニケーションが可能になり、安心感が得られます。特に、日本語の学習は、同性で年齢が近くて、模範となる人の話し方をまねることや、多くの日本語をインプットすることが効果的です。

地域に住む外国人のために、地域の日本人にできることはありますか？

できないという決めつけ、できるという決めつけをしない。人々は国籍による決めつけを避け、個々のニーズを理解するように心がけることが大切です。外国人は自分のニーズを表現する能力が、日本人はそれらを聞く場所の提供をすることが重要です。加えて言語習得と生活面でのサポートの両方が必要です。

